

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	環境情報学特別演習Ⅱ (Environmental Information Engineering Seminar Ⅱ)		
ナンバリングコード	R30402	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 通年
必修・選択区分	必修		
授業コード	M001204	クラス名	吉村研究室
担当教員名	吉村 充功		
履修上の注意、履修条件	特別演習は指導を受けるときだけでなく、普段からの取り組みが重要です。しっかりと取り組んで下さい。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	受講生の研究課題により、適切なものを指定します。		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ、環境情報学特別研究		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	交通計画や都市計画では、交通などの対象自体だけでなく、環境や周囲にどのような影響を及ぼすかといった問題も取り組み、問題の解決を計る必要があります。このような考え方を理解するために、公共経済学、厚生経済学を中心に、ミクロ経済学の理論と適用方法を習得します。また、数理計画法などの最適化の手法について、現象のモデル化から解法、計算法を習得し、交通、都市問題解決のための技法を体得します。これらの内容について、手順、成果などをまとめ、論文作成の過程を体得します。						
授業の概要	研究テーマに沿った演習を行います。研究内容により、交通現象を解析、まちづくりを進めるための調査、数値シミュレーション、解析、評価手法などを扱います。特に大分での事例を扱った研究や大分での実践活動をベースに進めます。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「該当しない」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>双方向授業 他</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	(3) アクティブ・ラーニング	双方向授業 他
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」						
(3) アクティブ・ラーニング	双方向授業 他						
地域志向科目	カテゴリーⅠ：ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目						
実務経験のある教員による授業科目	該当しない						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】				
【知識・理解】	①公共経済学、厚生経済学を中心に、ミクロ経済学の理論と適用方法を習得できる。		15点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	②数理計画法などの最適化の手法について、現象のモデル化から解法、計算法を習得し、交通、都市問題解決のための技法を体得できる。 ③上記の内容について、手順、成果などをまとめ、論文作成の過程を体得できる。		35点	35点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回のゼミレポートを到達目標の観点に照らして評価します。 評価結果はゼミの都度フィードバックします。 毎回のゼミ発表を到達目標の観点に照らして評価します。 評価結果はゼミの都度フィードバックします。

○その他



